

## 2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	石川村誌発刊事業					
事業の概要	区民有志による村史編纂委員会を設立し、大正14年に編纂された石川村史の続編として、石川が辿ってきた昭和という歴史・体験を記録に残し、後世に受け継いでいくため「石川昭和誌」を発刊するものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	2,593	本年度事業費	2,593	交付金交付額	1,296
事業の必要性	貴重な文献・資料等を形として後世に残し、引き継いでいくという点において、歴史・学術的意義並びに地域発展へおおいに貢献できるものと認識しており、また地域文化の継承にも大きく寄与でき、必要性の高い事業といえる。					
事業の有効性	村誌の発刊により地域コミュニティの発展、地域文化の継承に大きく寄与できるものと認識しており、有効性の高い事業といえる。					
事業の効率性	村誌の発刊により地域コミュニティの発展、地域文化の継承に大きく寄与できるものと認識しており、有効性の高い事業といえる。					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果  石川が辿った昭和という歴史を記録に残すことにより、地域歴史・文化への関心並びに意識醸成が期待でき、地域コミュニティの育成に繋がるもの思料する。					
	3 リーディング・モデル成果  自治会における村誌の発刊という事業は他に例がなく、今後、同様の事業を行う際の模範となりその成果は大きい。					
	4 広域的波及成果  自治会における村誌の発刊という事業は他に例がなく、今後、同様の事業を行う際の模範となりその成果は大きい。					
	5 行財政改革に資する成果					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。